



Timeless  
**Mucha**  
Mucha to Manga—The Magic of Line

みんなの  
**ミュシャ**

ミュシャからマンガへ — 線の魔術

2020 **7.11** Sat. — **9.6** Sun.

**静岡県立美術館**  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

ミュージーズ  
女神の  
魅惑は、  
永遠。

グッズ付  
特別前売券

5月18日(月)から販売、  
限定個数になり次第終了  
人気作品《ヒヤシンス姫》を大胆にデザインした  
特製ドリンクボトル付き特別前売券を販売!

価格:3,100円(税込)

販売所  
ローソンチケット・ミニストップ  
(Lコード共通:42273)

アルフォンス・ミュシャ (トパーズ、ルビー、アメジスト、エメラルド—連作《四つの宝石》) (部分) 1900年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020

観覧料:一般 1,400(1,200)円/70歳以上 700(600)円/高校・大学生 700(600)円/中学生以下無料

●( )内は前売および20名以上の団体料金。●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料 ●収藏品展・ロダン館も併せてご覧いただけます

チケット販売所 [前売・当日券] 前売券は7月10日(金)まで販売 チケットぴあ、セブンイレブン (Pコード共通 685-216)、ローソンチケット、ミニストップ (Lコード共通 42273)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館

[前売券のみ] 大和文庫、戸田書店(江尻台店)、谷島屋(バルシェ店・マークイズ静岡店)、吉見書店(竜南店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2  
ウェブサイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>  
お問合せ 総務課 Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767  
学芸課 Tel.054-263-5857

交通案内

- JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
- 静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- 東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分



開館時間:午前10時~午後5時30分 ●展示室への入室は午後5時まで 夜間開館:8月8日[土]、15日[土]、22日[土]、29日[土]は午後7時まで開館  
●展示室への入室は午後6時30分まで 休館日:毎週月曜日 ●ただし、8月10日[月・祝]は開館 主催:静岡県立美術館、ミュシャ財団、Daiichi-TV  
後援:チェコ共和国大使館、チェコセンター、チェコ政府観光局 協賛:大成建設、光村印刷、損保ジャパン  
静岡展特別協賛:セキスイハイム東海 協力:日本航空、日本通運 企画協力:NTVヨーロッパ Czech Republic セキスイハイム東海



# Timeless Mucha

Mucha to Manga - The Magic of Line

## みんなのミュシャ

ミュシャからマンガへ — 線の魔術

いしば「線の魔術」の生み出す繊細で華麗な作品でアール・ヌーヴォーの時代を彩った芸術家、アルフォン・ス・ミュシャ(1860-1939)。そのスタイルは「ミュシャ様式」と呼ばれ、後世のアーティストに今なお影響を与え続けています。ミュシャ財団監修による本展は、ポスターなどのミュシャの華やかな作品はもとより、財団秘蔵のミュシャ旧蔵品や初期作品も交えて生涯にわたるその多彩な魅力に迫るとともに、影響を受けたさまざまなアーティストたちの作品も展示。約250点の作品により、今日まで続くミュシャ様式の流れをご紹介します。時代を超えて愛される芸術家の秘密を斬新な視点でひも解くこれまでにないミュシャ展。どうぞご期待ください。

### アルフォン・ス・ミュシャ — 時代を超えて愛される芸術家。

## 第1章

### 序—ミュシャ様式へのインスピレーション



現在のチェコ共和国に生まれ、ウィーン、ミュンヘン、パリで画家としての修業を積んだミュシャ。展覧会導入部のこの章では、ミュシャ旧蔵の美術・工芸品や書籍を紹介しつつ、「ミュシャ様式」を成立させた要素を探ります。

1 《花鳥文様日本趣味の花瓶》  
19世紀後半 金属素地にエナメルで絵付け  
©Mucha Trust 2020

## 第2章

### ミュシャの手法とコミュニケーションの美学



2 アルフォン・ス・ミュシャ  
《オー・カルティエ・ラタン》誌 創刊6周年記念特別号  
1898年 カラーリトグラフ・表紙(ハバ、シュラウス社出版)  
ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020

パリに学ぶミュシャが経済的理由から挿絵画家として本格的に働き始めるのは1889年。大衆文化と印刷技術の展開目覚ましい当時、手堅い技術に基づく明確で流麗なミュシャの描線は印刷には理想的でもありました。この章では、挿絵画家ミュシャの仕事を紹介し。

## 「関連企画」会期中イベント

イベントはいずれも予定です。詳しくは美術館ウェブサイトをご覧ください。

### スペシャル対談

日時：7月18日(土) 14:00~15:30  
「ふたりのミュシャ—1900年と1972年」

講師：山田五郎氏 編集者・評論家／本展オフィシャルサポーター  
×  
木下直之 静岡県立美術館館長

会場：当館講堂／事前申込制／無料[ただし本展観覧券もしくは半券が必要]  
定員220名・応募多数の場合は抽選  
申込締切：6月30日(火) 必着

申込方法：当館ウェブサイト申込フォームまたは往復はがきにて。応募は2名様まで。  
※往復はがき記載事項 ①氏名(参加人数分)、②郵便番号・住所、③電話番号、返信面に宛先を記入の上、静岡県立美術館「みんなの対談受付係」まで。※抽選の如何にかかわらず結果は通知いたします。\*本イベントは静岡県文化プログラムの一環としても開催



### 記念対談

日時：8月22日(土) 14:00~15:30  
「『みんなのミュシャ』ができるまで」

講師：佐藤智子氏 ミュシャ財団キュレーター 本展監修  
×  
三谷理華 静岡県立美術館学芸課長

会場：当館講堂／先着順・申込不要／無料[ただし本展観覧券もしくは半券が必要]  
定員250名・応募多数の場合は抽選

### 館長美術講座

日時：8月16日(日) 14:00~15:30  
「ミュシャの飛来—明治のふたつの戦争の間へ」

講師：福井利佐氏 切り絵作家  
日時：7月26日(日) 1回目 10:00~12:30 2回目 13:30~16:00  
対象：小学生から大人まで(小学校3年生以下は保護者と参加して下さい)

### フロアレクチャー

当館学芸員が展示室にて解説を行います(30分程度)。  
日時：7月23日(木・祝)、8月8日(土) 14:00~  
8月15日(土)、8月29日(土) 17:30~  
集合場所：企画展第1展示室／申込不要、要観覧料

## 第3章

### よみがえるアール・ヌーヴォーとカウンターカルチャー



5

## 第4章

### マンガの新たな流れと美の探求

1900年代初頭の東の間、日本の明治の文芸誌の表紙はミュシャ風に染まりました。この時の様式は、時の中で起源を忘却しつつも、戦後の少女マンガやコンピュータゲームの表現などにも受け継がれます。展覧会最後の章では、この系譜の作品とミュシャ作品とが「再会」を果たします

- 7 アルフォン・ス・ミュシャ 《モナコ・モンテカルロ》  
1897年 カラーリトグラフ  
ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020
- 8 アルフォン・ス・ミュシャ 《ヒヤシンス姫》  
1911年 カラーリトグラフ  
ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020
- 9 表紙デザイン：藤島武二  
「みだれ髪」(与謝野晶子)  
東京新詩社と伊藤交友館により  
共同出版された与謝野晶子の  
第一歌集(明治34年)の復刻版  
(日本近代文学館、1968年)  
©Mucha Trust 2020
- 10 山岸涼子  
「黒のヘレネー」(「花とゆめ」)  
1979年9月11号雇用イラスト/白泉社  
1979年 カラーインク・紙 ©山岸涼子



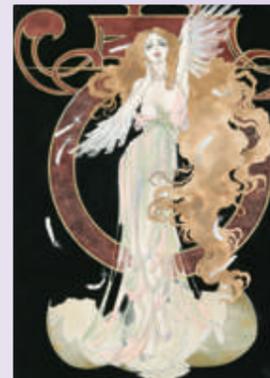
7



8



9



10

1963年に英国で開催のふたつのミュシャの展覧会は、没後忘れられていた業績に再び光を投げかけます。そして1960年代後半以降、ミュシャ作品に触発されたサイケデリック・ロックのポスターやアメリカン・コミックスなどが続々と登場。「ミュシャ様式」がよみがえります。

- 4 アルフォン・ス・ミュシャ《椿姫》1896年 カラーリトグラフ  
ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020
- 5 アルフォン・ス・ミュシャ《舞踏—連作(四芸術)より》  
1898年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020
- 6 デヴィッド・エドワード・バード  
《トリン・ギャラリーでの個展—ダンディーとしてのセルフポートレート》  
1971年 オフセット・リトグラフ  
David Edward Byrd at Triton Gallery, Courtesy of David Edward Byrd

4

### ちよこつと体験講座

日時：8月7日(日)~10日(月・祝)  
各日10:00~12:00、13:00~15:30  
「ちよこつとめり絵」  
会場：当館エントランス/  
申込不要／無料  
対象：どなたでもご参加いただけます。

### 音声ガイド



本展オフィシャルサポーターの千葉雄大さんをナビゲーターに、ミュシャ芸術の秘密を読み解きます!

所要時間：約35分  
当日貸出価格：600円(税込)

同時開催の収蔵品展「きらめく日本画」6月30日(火)~7月12日(日)  
東京2020オリンピック「富士山をめぐる」7月14日(火)~8月16日(日)  
パラリンピック開催記念「激突! 東西の狩野派」8月18日(火)~9月13日(日)

次回展覧会 「富野由悠季の世界展」9月19日(土)~11月8日(日)

静岡県美術館 「シヨパン—200年の肖像」8月1日(土)~9月22日(火・祝)  
展覧会のご案内